

施策項目 2 3 学校施設・設備の充実

[評価結果]

【担当課：施設課(高校教育課、義務教育課、特別支援教育課、ICT教育推進課、社会教育課)】



担当課HP

総合評価	進展あり
-------------	-------------

定量評価 [指標]	C
------------------	----------

指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)
	評価数	2	1	2	1
	d 評価となった指標	③			

定性評価 [施策]	進展あり
<p>学校施設については、道立学校において長寿命化等のための改修工事を計画的に進め、市町村立学校の耐震化については目標値には到達できなかったものの、継続的な働きかけなどを行い、わずかであるが前進させている。 教育用コンピュータの整備については、目標値を大幅に上回る整備が進んでいる。 学校図書館の環境整備についても、説明会等での働きかけや道立図書館による取組などを通じて、図書の整備や学校司書の配置が徐々に進んできている。</p>	

[施策の推進状況]

【P】・・・「Plan 令和3年度の主な施策」 【D】・・・「Do 主な取組の状況」
 【C】・・・「Check 施策の課題」 【A】・・・「Action 今後の方向」

《課題・背景》	(1) 道立学校の施設設備の整備充実 ・老朽化が進行している施設の長寿命化等による整備が必要
	(2) 幼稚園、小・中学校の施設設備の整備充実 ・小中学校における全棟耐震化が未完了 ・学校図書館の環境整備に係る働き掛け（図書の整備、学校司書など全国と比べ配置状況が低い）
	(3) 環境・健康等に配慮した施設の整備 ・良好な教育環境の充実に向けた市町村への整備促進の働きかけが必要

(1) 道立学校の施設設備の整備充実	
[P] 次年度へ	<p>①平成28年に策定した「北海道ファシリティマネジメント推進方針」に基づき、建物の長寿命化改修等を計画（法定耐用年数以上の使用を基本としている）</p> <p>①安全性確保、長寿命化、学科転換、普通教室の狭隘化解消のための施設整備（R3実績：校舎大規模改修20校（設計8校含む）、校舎長寿命化改修5校（設計2校含む）、体育施設大規模改修9校（いずれも設計）、改築2校（いずれも設計）、学科転換2校（設計1校含む）、狭隘化解消1校、既存施設改修による新設2校）</p>
[A]	<p>①安全・安心な学習環境を維持するため、施設設備の整備をより効率的に推進</p> <p>①老朽化の進行に伴う工事規模の増大や近年の工事費等の上昇により、施設整備に係る予算の確保が課題</p>
(2) 幼稚園、小・中学校の施設設備の整備充実	
[P]	<p>①耐震化の早期完了に向けた市町村への積極的な働きかけの実施 ②市町村に対する調査結果を踏まえた読書環境の整備・充実に関わる要請等の実施 ③学校と図書館等が連携した取組の充実に向けた支援 ④探究活動の基盤となる学校図書館の環境整備を啓発・支援</p> <p>①・耐震化完了学校数：24校 ・全市町村を対象とした研修会・会議において、耐震化に関する説明を実施 ・補助制度の活用について随時個別相談を受けるなどの支援を実施 ②・学校図書館の現状に関する調査等により把握した情報に基づき、道立図書館における「学校図書館運営相談事業」等を始め学校図書館の環境整備の支援 ・学校図書館の整備充実を促進するための通知及び説明会等での働き掛けを実施 ③学校図書館と地域の図書館や読み聞かせ団体等の連携・協働を支援 ④探究活動等に使いやすい道立高校の図書館整備に係る助言・支援</p>
[A]	<p>①・学校施設の耐震化が図られるよう、引き続き、会議・研修会の場において必要性に係る説明を実施 ・耐震化完了に向けた市町村の検討状況を丁寧に把握し、継続的に要請を実施 ・補助制度の活用について随時個別相談を実施 ②読書環境の整備・充実に向けた取組の推進 ・道立図書館の「学校図書館運営相談事業」や「支援貸出事業」などの市町村活動支援事業の更なる周知や活用の働き掛け ・学校図書館図書標準の達成に向けた管内ごとに目指す取組の明確化や達成率の高い市町村等における好事例を普及啓発し「見える化」を図るなど必要性の理解促進 ③・④ 学校と図書館等が連携した取組の充実に向けた支援 ・学校と公立図書館が連携した読書環境充実に向けた一層の支援 ・学校図書館の整備充実を担う学校司書の配置促進や資質向上に向けた講習の企画・立案</p> <p>①学校施設の耐震化の実施に当たり、市町村における統廃合の検討の進捗や財政事情の改善などが必要 ②学校図書館図書標準の達成率や学校司書の配置率の目標値に達していないため、市町村に対する調査結果を踏まえた読書環境の整備・充実に向けた以下の取組の検討が必要 ・学校図書館の整備充実に向けた道立図書館の学校図書館運営相談や様々な資料の貸出などの支援事業の活用促進の普及 ・学校図書館の整備に係る好事例の周知・啓発 ③・④ コロナ禍により公立図書館や地域人材と連携した取組の実績値が前年度より下回っているため、学校と図書館等が連携した取組の充実に向けて以下の取組の検討が必要 ・読み聞かせ団体の活動を市町村教育委員会に周知し、学校の読書活動への活用促進 ・学校図書館の環境整備に対する意識向上に向けた好事例の普及啓発や学校司書の配置促進に課題</p>

(3) 環境・健康等に配慮した施設の整備	
<p>① ホームページや会議の場を活用した情報提供の実施</p>	<p>① 環境・健康に配慮した学校施設の改善を図ることができるよう、ホームページ及び会議を活用し文部科学省による「環境を考慮した学校施設（エコスクール）」に関する事業や感染症対策に資する施設整備について情報提供を実施</p>
<p>① 環境・健康等に配慮した学校施設の改善が図られるよう、会議・研修会の場において国の補助制度の活用などについて説明を行い、対策を促進</p>	<p>① より多くの学校施設が環境・健康に配慮されたものとなるよう、制度趣旨や支援措置について市町村の理解促進が必要</p>

[指標の状況及び評価]

指標の内容	基準値	目標値（上段）						進捗率	評価	出典 (調査名等)	実施主体	調査期 日又は 調査対 象期間	指標の 対象
		実績値（下段）											
		(H29)	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)	(R4)						
① 公立学校施設の耐震改修状況調査において、「全棟数」に占める「耐震性がある棟数」の割合(%)	(H29) 94.4	100	100	100	100	100	98.0%	b	公立学校施設の耐震改修状況フォローアップ調査	文科省	R3. 4. 1現在	公立小・中学校	
② 教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人)(再掲) (本掲は、「施策項目5」)	(H28) 5.2	4.7	4.5	3.6	3.6	3.6	240%	a	学校における教育の情報化の実態等に関する調査	文科省	R3. 3. 1	幼稚園を除く公立学校	
③ 学校図書館図書標準を達成している学校の割合(%) (再掲) (本掲は、「施策項目10」)	小	(R元)	—	56.7	60.0	65.0	70.0	69.0%	d	学校図書館の現状に関する調査	文科省 道教委	※札幌市を除いた市町村の数値 ※R2年度の実績	公立小・中学校及び特別支援学校
		37.8	47.7	38.5	37.8	41.4	R4. 12						
	中	(R元)	—	51.7	55.0	57.0	60.0	84.0%	c				
		38.7	46.6	36.4	38.7	46.2	R4. 12						
	特小	(R元)	—	15.0	15.0	15.0	15.0	117.3%	a				
特中	(R元)	—	3.4	3.6	4.3	5.0	80.6%	c					
		2.9	2.7	2.9	2.9	R4. 12							
評価結果	(a) 指標数	(b) 指標数	(c) 指標数	(d) 指標数	定量評価			C	d 評価に対する今後の取組	③ 学校と公立図書館が連携した読書環境充実に向けた取組の支援により、学校図書館の環境整備の充実を図る。			
	2	1	2	1									